



二次元コードから
アクセス
出来ます。



お得な各種サービス ※詳しくはホームページをご覧いただくか、みやまコンセールへお電話ください。



霧島に泊まってお得
チケット特典(要申込)

公演の前日または当日に、霧島温泉旅館協会加盟のホテル・旅館に宿泊される方は、チケットを定価の半額で購入できます。
鹿児島市内から直通臨時バスを往復運行します。所要時間は約95分、大人往復2,100円です。



みやま特急チケット
（有料・要予約）

託児サービス
（有料・要予約・定員9名）
2歳から就学前のお子様を公演中お預かりいたします。料金は1人500円で、各公演2週間前までの受付です。

1
月の催物

11日 第16回みやまスペシャル・コンサート

開演→終演

入場方法

お問合せ先

14:00 16:00

一般 2,000円
3歳～学生 1,000円
※3歳以上入場可

みやまコンセール・主ホール
0995-78-8000

12月
[祝日] みやま音楽塾⑩

10:00 16:00

受講生のみ
みやまコンセール
0995-78-8000

15木 パイプオルガン講座④

10:00 16:00

受講生のみ
みやまコンセール・主ホール
0995-78-8000

16金 ソロ・アンサンブルコンテスト(伊佐・姶良地区)

10:00 16:00

入場無料
霧島高等学校
0995-76-0039

18日 みやま音楽塾⑪

10:00 16:00

受講生のみ
みやまコンセール
0995-78-8000

23金 霧島郷土芸能のタベ

20:30 21:30

入場無料
霧島市観光協会
0995-78-2115

24土
25日 JBAソロ・アンサンブルコンテスト

10:00 16:00

入場無料
(公社)日本吹奏楽指導者協会
鹿児島県部会

31土 パイプオルガンコンサート⑦

14:00 15:00

一般 1,000円
学生 500円
※小学生以上入場可
みやまコンセール・主ホール
0995-78-8000

第16回 みやまスペシャル・コンサート

2026.1/11(日) 14:00開演



福重 真紀 [ピアノ・企画]



久野 真理香 [ソプラノ]



手塚 洋子 [メソブラン]



川野 貴之 [テノール]



美代 開太 [バス]



関 めぐみ [フルート]



小田原 美紀 [クラリネット]



今林 吹音 [ヴァイオリン]



清水 かおり [コントラバス]



安田 奈緒子 [パーカッション]



富田 一樹 [パイプオルガン]

予定曲目 《第一部「地獄編」》 リヤードフ:バーバヤガ
サン=サーンス:死の舞踏

《第二部「天国編」》 バッハ:主よ、人の望みの喜びよ
リスト:波の上を渡るバオラの聖フランチェスコ
オッフェンバッハ:天国と地獄 ほか

入場料金 (全席自由) 一般 2,000円 3歳～学生 1,000円 ※3歳以上入場可

チケット好評発売中

14:00

3歳～学生 1,000円
※3歳以上入場可

みやまコンセール
0995-78-8000

パイプオルガンコンサートvol.7

2026.1/31(土) 13:00開場 14:00開演



出演 山口綾規

予定曲目 J.S.バッハ:幻想曲 ト長調《ピエスドルグ》BWV572

J.S.F.バッハ:きらきら星による18の変奏曲 ほか

入場料金 全席自由(税込) 一般 1,000円 学生 500円
※小学生以上入場可

チケット 前売券:財団WEBでのみ、1/23～29販売

お知らせ

12月29日(月)～2026年1月2日(金)は
年末・年始のため休園します。

新年は1月3日(土)から開園します。



青木野枝《無題》

空気のように積み重ねられた、目に見えない丘のような感じになることをイメージしてつくられた作品です。鉄の重く冷たい感じとは逆に、柔らかくゆらぐような感じを表しているのが特徴です。まっすぐな鉄線ではなく、厚い鉄板をバーナーで切り離してつくった細い線がもたらす効果にも注目しましょう。

冬コレクション展

開催中～2026.2/23(月・祝) 会場 アートホール

*月曜日休園

[祝日の場合は開園し翌平日休園、12/29(月)～1/2(金)は年末年始休園]

*入園料のみでご覧いただけます。

コレクション展では、屋内の所蔵作品を年数回に分けて展示・公開しています。今回は、オノ・ヨーコ《絶滅に向かった種族(2319-2322)》、イサム・ノグチ《発見の道》、中村晋也《ミゼレーレ XIII》など、19点を展示します。作品解説カードを手がかりに作者との対話を楽しみながら鑑賞してみませんか。



長沢英俊《李白の家》

©Shuichiro Minami

中国、唐代の詩人、李白の家をイメージしてつくれられており、李白の詩に対する作家の思いが込められています。白い壁に取り付けられたすり減った石段と住居の扉の表現は、夢の中で見た実態のない幻を見ているような感じさえします。果たして、李白は今もこの家の中に住んでいるのでしょうか。



青木野枝《無題》

©Shuichiro Minami

空気のように積み重ねられた、目に見えない丘のような感じになることをイメージしてつくられた作品です。鉄の重く冷たい感じとは逆に、柔らかくゆらぐような感じを表しているのが特徴です。まっすぐな鉄線ではなく、厚い鉄板をバーナーで切り離してつくった細い線がもたらす効果にも注目しましょう。